

株式会社ナガミネ

業種	製造業	事業所所在地	鹿児島県霧島市	資本金	10,000千円
				従業員数	6名

	被承継者	
	永峯 和幸	66歳 ※承継時
	承継者 (左)	
	永峯 真一	40歳 ※承継時
事業承継を行った時期	被承継者と承継者の関係	
2016年8月	子ども	
承継前の主たる事業の内容	承継前の主たる事業の課題	
農業・農産加工	・新市場への参入	売上の減退

事業承継を実行するまで		
きっかけは？	承継計画の立案	承継までの不安と準備
承継実行の 3年前	被承継者と承継者で話し合ったこと	被承継者の承継に対する不安
会社設立30周年を機に。	承継を機に、新事業参入に挑戦する。	なし
	関係者との調整	承継者の承継に対する不安
	なし	なし

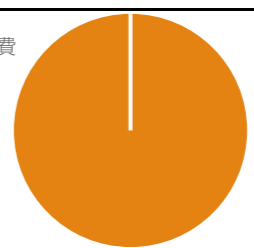
これに一番苦労した！
既存事業を生かしつつ、尚且つ新規事業としてのブランド構築を行う上で、相互の関連性と、個々の商品のブラッシュアップ、すり合わせという点で苦労した。

事業承継について相談したこと	
相談した機関の業種	承継に関して受けたサポート内容
金融機関（銀行）	承継、新事業発足を行うにあたり、本社（店舗・製造施設併設）の新築移転の融資。
いつから相談？	
承継実行の 1年前	
相談のきっかけ	
以前から取引や付き合いがあった	

経営革新等に係る取組の標題

薬膳学による自社生産農産物を用いたプライベートブランド商品の開発・販売

経営革新等に係る取組の内容	新商品の開発又は生産
<p>●当社は、農業栽培から加工品を製造する経営を現在まで行ってきたが、競合他社や海外品の増加で売上が伸び悩んでいた。</p> <p>●承継前からプランを描き準備を行ってきた新事業「薬膳事業」を具現化するにあたり、2013年から薬膳学の学習を始め、2018年中国国務院が行う認定試験「国際薬膳師」試験に合格して、国際薬膳師の資格称号を得た。これに基づき、薬膳要素を取り入れた新商品製造に着手し、オリジナルブランド商品の開発・販売を行う。また、薬膳素材を中心に自社農園での栽培も行う。</p> <p>●今後は、社員1人1人の能力が発揮できる職場づくりを行い個人スキルを身につけることで、心と体のケアを行う身近な相談相手として消費者から頼られる事業所に成長させ、薬膳の普及を通して健康都市を創り上げることを目指す。</p>	
	

地域経済やバリューチェーンへの貢献	補助対象経費の内訳
地域において、薬膳は全く目新しいものであり、これを浸透させるために旅館・飲食店などに共同企画を提案し、オリジナルの薬膳料理を扱う店舗も徐々に増えてきた。温泉観光地というところも相乗し、“健康”のワードがなお一層深みを増してきた感がある。	<p>■ 設備費</p>  <p>経費の主な使い道</p> <p>設備費 (食品用脱気・ガス充填機、冷凍・冷蔵庫、金属探知機等導入費)</p>

認定経営革新等支援機関の名称：霧島市商工会			
認定経営革新等支援機関から受けたサポート内容			
<input checked="" type="checkbox"/> 制度内容の理解	<input type="checkbox"/> 事業計画の立案	<input checked="" type="checkbox"/> 各種提出書類の作成	<input type="checkbox"/> 補助事業の実施

製造所新設のタイミングも重なり、機器購入の件で相談したところ、本補助事業のことを聞きサポート体制を敷いていただいた。

今後に向けて～次の目標	
2019年から2022年に向けて	飲食業への新規参入をめざす。
売上高 200 %UP	

これから事業承継に取り組む事業者の方へ	
被承継者からの一言コメント	承継者からの一言コメント
なし	今後は社長個人、社員ひとりひとりの市場価値を高めていくことが、会社の社会的魅力度やブランド強化に繋がっていくと考えます。現在、個人スキル・技術を持った方達がフリーランスという新しい働き方の動きを見せています。そのような人材がスキルを発揮できる、また、あの会社で働きたいと思わせる魅力ある組織をつくっていく必要があると考えます。